

医療安全対策委員会

委員長：竹本 さと子

1. 活動方針および活動目標

地域で医療安全を担う医療従事者が必要とする医療安全情報を提供するために、交流会を通じてニーズを把握し、委員会で検討して発信する。

2. 活動内容

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	委員 延べ人数
定例委員会 【マルイトOBPビル】 Zoom併用	活動目標を達成するために、14題の安全に関わるテーマを委員会で取り上げて検討した。	全12回	24名
交流会 【各会場または Zoom・メール開催】	支部医療安全交流会 府北4回、府北西4回、府北東4回、府東4回、 市北4回、市西4回、市東3回、市南6回、 堺4回、府南3回、泉南4回	全43回	延べ808名

3. 活動実績

実施項目 【開催場所】	内 容	開催日 等	参加者 延べ人数
医療安全対策委員会 学習会	委員（薬剤師）による『持参薬使用を減少させる 取組み～持参薬関連業務負担軽減を目指して』 のレクチャー	7 月	25名
医療安全対策委員会 学習会	委員（理学療法士）による『具体的な転倒転落対 策』のレクチャー	8 月	26名
医療安全対策委員会 学習会	委員（保健師）による『災害への備え～そのBCP 機能しますか？』を行政の立場からレクチャー	10 月	24名
医療安全対策委員会 学習会	委員（臨床工学技士）による『ポンプ類の日常点 検、機器点検』『生体監視モニタのアラームを減 らすために』のレクチャー	12 月	22名
看護だより 154 号	『支部医療安全交流会』の活動と入会方法を紹 介。また、当委員会で作成した『医療安全動画』 と『医療安全ポケットマニュアル』についてPR	5 月	47,800部
看護だより 155 号	職員への暴言や迷惑電話等に対する各施設の取 組みを紹介	7 月	49,300部
看護だより 156 号	「ナンでもダブルチェック」が氾濫している中、 ダブルチェックが必要な薬剤や場面を紹介	11 月	50,400部
看護だより 157 号	診療報酬改定に伴う「身体拘束最小化」の取組み の強化について注意喚起	1 月	49,370部

【活動の概要】

委員会で取り上げた14題の安全に関わるテーマや支部交流会からの問題提議案件について委員会で検討および検証を深めた。身体拘束最小化対応・医療機器管理・モニタアラーム対応・パニック値対応等、単に対策を話し合うだけでなく、医療安全管理者としてどのように他職種と連携し、安全を高める活動を促進すべきなのか検討し、交流会へとつなげることができた。

4. 課題・その他

本年度は過剰なダブルチェックの廃止と適切なシングルチェックについて検討した。このように、実効性が低く業務改善の妨げとなっている安全対策等について見直し、提案できるような取組みも強化していきたい。